

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 地域福祉課長 半場 祐子 電話番号 0852-22-5349

事務事業の名称	しまね流福祉のまちづくり推進事業		
目的	(1) 対象	地域において支え合いや見守りが必要な住民	
	(2) 意図	住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、行政、住民組織、NPO等が協働する地域の支え合いの仕組みをつくる。	
事業概要	市町村社会福祉協議会を中心に生活福祉課題の解決を目指す協議の場づくり等の推進に向けた協議・情報交換等を行う経費を島根県社会福祉協議会へ補助する。自治会区福祉活動を行う団体のうち、特に優良な活動を行う団体を表彰する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 優良な自治会区福祉活動に対する知事表彰を受けた団体が存在する市町村数	目標値		14.0	16.0	18.0	19.0	市町村
		取組目標値						
	式・定義 優良な自治会区福祉活動に対する知事表彰を受けた団体が存在する市町村数	実績値	12.0					
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	6,287	3,254
うち一般財源 (千円)	3,244	1,685

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

○県内の全自治会・町内会6, 142のうち57, 7%に活動組織が立ち上がった。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

県内の全自治会・町内会6, 142のうち57, 7%に活動組織が存在している。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

地域には、様々な生活・福祉課題が存在しており、解決していかなければならない。

②困っている状況が発生している「原因」

地域の生活・福祉課題が複雑化・多様化してきている。

③原因を解消するための「課題」

生活・福祉課題の解決を目指す協議の場づくりや情報交換等が必要。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

地域福祉課題解決に向けた取り組みを引き続き支援していく。県社協や市町村社協と連携し、引き続き現場のニーズや活動実態の把握に努める。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)